婦人と新社會

山田わか主筆

九月號

大正九年二月二十三日第三種郵便物認可
昭和三年八月二十三日印刷納本

破壊か建設か
男性に對する二三の要求
感泣の涙と罪
二人の男
巡回講演を終つて
愚劣な端書

昭和三年九月一日發行　第百〇二號　毎月一回一日發行

東京市婦人と新社會社發行

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

山田わか女史著

現代婦人の思想とその生活

四六判五百餘頁
定價貳圓八拾錢
送料拾四錢

現代婦人の思想とその生活について、從來發表された、また現に發表されつゝある山田女史の論話は、すべて本書にまとめられ組織立てられてゐます。女史の優れた人格と思想については、既に皆樣もご存知のことですが、母性愛の貴い創造力、その貴い創造力にもとづく婦人の使命について、婦人自らの自覺を促がし、婦人のこの使命に對する正しい理解を男子に要求するために、女史はたゆみなき努力をつゞけてゐられます。婦人の覺醒運動のために、街頭に立てる所謂先覺婦人と稱せられる人達は、決して少くはないやうです。しかし、山田女史のやうに、豐富な學殖と眞實な體驗によつて組織された思想から、すべてを力強く批判し生活しようとされてゐる人達は、まことに稀なやうです。それ故、女史の一言一句は、さながら預言者の獅子吼のやうに貴く響きます。現代の女性並びに男性が、女史のこの獅子吼に目ざまされること一日速やかであればあるだけ、お互の家庭に社會に、美しい輝やかしい平和と幸福がおとづれることもまた速やかであらうと思ひます

昭和婦人讀本 處女篇

定價壹圓
送料拾錢

昭和婦人讀本 家庭篇

定價壹圓
送料拾錢

處女篇は高女卒業前後のお孃さん達に、家庭篇は結婚前後のお孃さん、奥さん達にぜひご一讀をおすゝめします。そしてまた、女性の感情とその使命に正しき理解なもたるべく一般の男性もぜひご一讀の必要があります。

東京牛込區赤城元町
株式會社 文教書院
振替東京四四三五三

破壞か建設か

最高學府の出身者で、可なり確實なしかも高い位置を占めてゐて、まだ、獨身者である靑年紳士の幾人かと、私は坐談したことがありました。

「人の親となる資格のない人が結婚して子を持つのが罪惡であると同じように、あなた方のような立派な靑年紳士が獨身でゐて子をつくらないのも矢張り一種の罪惡だと思ひますが」と私は問ひかけました。

「好んで獨身でゐるわけではないのです。理想の女性にぶつからないのです」と云ふのが其の答へでありました。私は、フト、おかしくなつて――それ等の靑年紳士を馬鹿にしておかしくなつたのではありません――笑ひながら、

「女性の方でも理想の男性に出逢はないために結婚できないと云つてゐるのが隨分あるのですが、さうして理想の女性を探して御ゐでになる、あなた方は理想の男性でゐらッしやいますか？」と、隨分不遠慮ながら私は、又、問ひかけました。

「ヤア、それは……」と問ひかけられた靑年紳士は頭をかき、席上の人達はアハハと笑ひ出したのでしたが、併し、考へて見ると、これは笑ひごとではない。人生の葛藤、不幸の源は皆こゝにあるのではないかしらと云ふ氣持ちが私は致しました。

自分が理想的の人間であるかと云ふことを少しも考へずに、相手にのみ理想的を望んでゐる。

銀を持つて行つて金と交換しようとする。それでは取り引きは、永久に成立しそうもありません。

既婚者の場合でも同じことで、夫に與へる自分が銀であることを棚へ上げて、夫が金であることを望み、自分のうちにある棒のような缺點を見逃し、夫の針程の缺點が氣になりがちであることを考へなければならない。一切の不滿、不和、爭ひの源が大柢はそこにあるように私は考へました。

男の側からの妻に對する不滿は多くの場合ひ性的不滿に其の原因があると云はれて居りますが、女の側からの不滿は男のように其れが生理的ではなく精神的であらうとは容易に想像出來ますが、要するに、それは結婚前の又は初婚當時の情熱を失つたゝめの倦怠であるようです。

仕事は、それがどんな種類の仕事であろうとも、長い年月の間にはあき〳〵した氣持ちに遭遇せずには居りません。けれども、もし、その度毎に其の仕事を捨てるならば、そして轉々として職業をかへて行くならばツイには餓死するのが其の結果でありませう。

物質を對照とする職業ですらさうなのです。ですから、複雜な人事關係、殊に、人間生活の根本的事實であり生命の源である夫婦關係に附て倦怠を覺へると云ふようなことはあまりに不眞面目であり、人生を遊戲視してゐるように考へられます。

○

他人の目には醜い、とるにも足らないような子供でも親の目には何物にも代へがたい貴い存在です。そして、それは子供の外見の如何を問はず人間としての價値の如何を問はず其の子供のたましいと親のたましいとがかたく結び付い

てゐるからです。自分のたましいとつながつてゐる外のたましいの存在程人間にとつて尊いものはないのです。

人は自分のたましいの頼り處と云ひますか、預け處と云ひますか、とにかく、たましいとたましいとの交渉を絶對に必要とします。宗教家は神に又は佛に自分のたましいを預けて安心してゐます。が、凡人は凡人のうちに自分のたましいの預け處を見出さずには居られません。親子關係が道德の基調だと云ふのは其の故です親子はお互ひにたましいを預け合つてゐるからです。凡ての人間關係が親子關係のように取り運ばれるなら世の中に問題はないのですから。

併し、今の不完全な一般の人間に望んでも其れは到底不可能ですが、併し、せめて夫婦の間にだけでも其の標準を確立しよう、足らない處は補足し合つて無いものを創造して行かうと努むるのが此の過度期に生活する私共の使命ではないでせうか？

結婚生活に馴れて夫からは戀の感激を失つたからとか、又は、もの足りなさを感じて來たからとか云つて其の度毎に夫を取りかへてゐたのでは、自分のたましいと夫のたましいとをつなぐいとまがない。ツイにはたましいの預け處ばかりでなく、身のあづけ處も無くて憐れにも淋しく此の世を終ると云ふのが其の結果でありませう。

○

私共の知人に女子としては可なり高い教育を受けた婦人がありました。未婚當時の彼女は自分の夫としてはスツキリと風采の立派な現代的靑年紳士を夢みてゐたようでした。けれども、縁あつて結婚して見ると其の夫なる人は少しも外見を飾らない、まるで、百姓おやぢのような

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

格恰をしてゐる男でありました。しかも箒を持つて家のまはりの掃除などをするので彼女の失望落膽は大したものでした。箒を持つて妻の仕事を手傳はふとする其の温いたましいを見ることが出來ない其の婦人の淺薄な頭を私共は無限に悲しんだのでした。

要するに、夫に又は妻に不足を感じ始めた時には、その感じなるものが世間へ自分を飾りたい虚榮から來てゐはしないかどうか、又は、いつまでも〳〵甘い戀心に浸つてゐたいと云ふ不健全な人生觀から來てゐはしないかどうか、或ひは、又、夫の持つ缺點に妻としての自分の力で補足して行けないものであるかどうかと云ふようなことに付て考へて見る必要があります。

折角、まとまつてゐる夫婦關係をこはした後の双方の不幸子供がある場合にはその子供の不幸――と比較して見るならば、その關係を繼續し健全にして行くための努力は、それがどんなに大きくとも決して高過ぎないことを私は斷言します。

破壊は易く、建設は難しい。けれども、難しいその建設のために努力してこそ本當に生き甲斐のある日を送れるものであることを私は確信致します。

容貌の美醜乃至は外界の事情に囚はれて、夫の又は妻の人間としての素質乃至たましいの價値を見ることが出來ないのは人生の最大不幸事です。

暑中御機嫌御伺ひ申上げます

昭和三年八月

山田嘉吉
山田わか

男性に對する二三の要求

女性を代表して男性に要求したい先づ第一のものは「戀に對してもつと愼重な態度であつて欲しい」と云ふことです。

最も眞劍な求愛として世界の人々の記憶に殘つてゐるものゝ一ツは聖書のうちの物語、ラッチエルに對するヤコブの愛です。

ヤコブはラッチエルを得るためにラッチエルの父の命に從つて七年間烈しく勞働しつゞけました。けれども、七年の其の長い年月も彼にとつては僅か數日のようであつたと云はれてゐます。

彼の勞働を輕くしたものはラッチエルに對する愛であつた、彼女を戀ひ慕ふ彼の心は調和よき音律となつて彼の肉體を流れてゐた。

その長い勤勞の年月も黄金の砂がサラ〳〵と流れるように、美しく速やかに流れ去つたのである。

と云ふ意味の誰やらの詩があります。

戀のためには一切を捧げて惜しまないと云ふ眞劍味があつてこそ本當に幸福な戀を得ることが出來るのです。

「幾人も〳〵の女と關係しながら、充分に愛慾を滿足させることとの出來ない男があるに反して、一生のうちにたつた一人の女性を愛して、しかも、盛りこぼれる程の愛の盃を味ふ男がある」と或る文豪は申しましたが、それは、戀に對してヤコブのような眞面目な眞劍な態度を持つてゐたからでありませう。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

富とか、名譽とか、力とか、外形の美とか云ふものは、青年及び壯年のうちこそ大いに問題でありますが、併し、老年に入つてはさう云ふものは大して問題にはなりません。が、精神的に强い愛は青年時代、壯年時代、老年時代と凡ての時代を通して人生には必要です。

年は、云ひかへれば、時は、絶大なる力をもつて私共人間の目、耳、頰、及び、手をつまり、肉體を支配します。けれども、その絶大なる力も、私共の心の上に、つまり、愛情の上には何等の勢力を持つて居りません。卽ち、過ぎ行く年も情愛の上にはその跡を止めず、嚴寒の雪も私共の心の奥にたくはへてある情愛を凍らすことは出來ないのです。

こう云ふような若い心に芽生へるとから墓にまで持つて行くことが出來るような情愛はヤコブの戀のような眞面目なしかも燃へるような戀がだん／＼成長して情愛に變形したものです。そして、こう云ふ情愛の中には戀人としての戀心も夫婦としての愛情も皆ひつくるめられてあるのです。ですから、愛を僞る程大きな罪惡はありません。

現代の女性にとつては、政治上、法律上、經濟上、及び、社會上の位置の確立も必要でありますが、さう云ふ事柄よりもより一層必要、且つ、緊急の問題は戀愛に對する男子の態度の改革であります。この點が女性から男性に要求すべき最重要事であります。

〇

一體、我が國では良妻賢母と云ふ言葉は人々に聞き倦きられ、反感を持たれ、はては、呪ひの言葉さへあびせられる程、くどく使用されてあつたのですが、それは、男子から女子に要求する處のみ多くて、女子からの要求を聞かうと

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

か、又は、女子の立場を顧慮する處が少しも無かつたからです。

そこで、私は、女子に對する良妻賢母と云ふ言葉を、世間の女權主義者のように無條件に捨てはしないと同時に、男子に對して良夫賢父になるための修養を要求します。

今までの男子は夫となり父となるための用意をあまりに等閑に附してゐました。社會的に又は經濟的に成功しさへすれば、それで立派な人間だと考へてゐました。けれども、男子のさう云ふ態度が今までに幾多の家庭悲劇を起させてゐます。

女性の使命、家庭婦人の意義と云ふことに徐々と目ざめつゝある現代の婦人は男子のさう云ふ態度にはます／＼もの足りなさを感じつゝあります。

無視された家庭婦人の位置に止まることに不滿を感じ家庭を捨てゝ職業に附く婦人が日に月に增加しつゝあります。それだけづゝ家庭は荒廢に傾きつゝあるのです。

男の生活の中心點は事業のうちにあるに反して、女の生活の中心點は愛にあるとするはよいとして、そして、男が事業に沒頭し、事業を尊敬するのは結構なことであり、有益なことでありますが、同時に、男は女の愛の生活をも重要視し尊敬しなければなりません。男性の所謂事業なるものが人生に必要であると同じように、否、それ以上に女性の愛なるものは此の人生に必要であることを思はなければなりません。男の事業なるもののみが有益であり尊敬に價ひするものであるとし、女の愛の生活をつまらないものとして考へてゐた處に大きな矛盾があり、そして、それがあらゆる不幸の源であつたのです。

女の愛の生活をつまらないものだと考へてゐ

る人達は、彼の生活から彼の母の愛、戀人又は妻の愛、或ひは、彼の子供に對する愛情を除去して御らんなさい。後に何が殘りますか？

どんなに多くの富を積み得てあつても、どんなに高い社會上の位置がかち得てあつても共れだけでは、彼の生活は決して滿足ではありません。それに反して、畜財は無くても社會上の位置は無くても愛に豐かな家庭があるならば先づ常識ある人なら、それで滿足することが出來ます。

なぜかと云ふと、それは人類の最高使命なる生命の創造並びに保育にたづさはつてゐるからです。云ひかへれば、宇宙の創造の事業に參加してゐることを有識無識のうちに感じてゐる、宇宙の大精神に合致した生活を營み得てゐるからです。そして、この宇宙の大精神に合致した生活、即ち、創造及び保育の業は物質の力や名譽の勢力だけでは遂行することは出來ない。云ひかへれば、女性の愛情なしには不可能であるのです。かく、了解するならば、女性の愛の生活が如何に重要、且つ、貴いものであるかゞ明らかです。

そこで、女性の愛の生活は男性の事業の生活よりも高くとも低くないと云ふことを男子達が認識されることを私は要求致します。

〇

新時代の女性の目に、ほんとうの立派な青年、立流な紳士として映る男性は、道德的の勇者であります。

立派な靑年として紳士として、其の資格を數へ上げれば、限りはないでありませう。たとへば、內部に向ふしとやかな女性の對照として外部にまい進しようとする男性的の勇者、强健な體力、廣い明るい智識など、皆、立派な青年と

して紳士として必要な資格であるに相違ありません。

けれども、もし、それ等の資格に道德的勇氣が伴はないならば、それは味も魅力もない本當にかつをぶしの出しがらのようなものであります。そして、新時代の女性にはさう云ふ無味乾燥な男子は耐へきれない厭はしい者であります。

そして、この道德的勇氣とは、一名人道的とも云へるし、溫情的とも云へると思ひます、人情に厚いと云ふことが道德的となり、人道的になるのですから。

そして、溫情的であり、道德的であると云ふことは、必ずしも學問や、廣い知識や深い經驗を要しません。知識は狹く經驗は淺くても隨分立派な道德家であり、智慧者である人があります。

何となれば、道德家であり智慧者であると云ふことは頭の問題と云ふよりもハートの問題です。從つて、自己中心にのみものを考へる人はどんなに學問があつても廣い知識があつても經驗があつても自分自身の狹い範圍から脫することが出來ません。

智慧と溫情は他人に對する同情と憐み深き心の持主のみの所有物です。さう云ふ人にとつては他人の喜びと悲しみが自分自身の喜びであり悲しみであるように、それ程自分に近く、且つ、敏感です。

一度は腕力の强いのが男らしいのでありました。そして、此の頃では主もに金力が男の力でありました。腕力乃至金力があれば男はそれだけで不都合ないように考へてゐて、男の行儀と云ふようなことに關しては全然放任されてあつて、今日、猶、大部分の男は野蠻人の狀態にあります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

さう云ふ種類の男性でなく、私が前に云つたような智慧者であり道德的勇氣を持つ男子を得るならば、新らしい時代の女性は、彼の金力の程度や身分や職業の如何は皆愛の中へ包んでしまつて問題にしないでせう。

感泣の涙と罪

ヨハネ傳第八章一節に、『イエスはオリブ山に行き給ふ』とあります。夜の閒靜かな山の中で心行くばかり御祈りをするためであつたでせう。續いて二節には『夜明ごろ、また、宮に入りしに、民みな御許に來りたれば、坐して敎へ給ふ』とあります。山を下り神殿に入られたイエスの神々しい御姿を見かけて、水に渇した人々が爽快な淸水がこん／＼と沸出してゐる泉に慕ひよるようにイエスの御前にあつまつて來た光景が彷彿します。

こゝまではまことにほがらかな良い氣分の光景でありますが、第三節に入つて穩やかならぬ氣分が充滿して來ます。なぜなら、こゝに、學者及びパリサイ人達が、罪を犯しつゝある時ひつ捕へた一人の女をひツ立てゝ來て、衆人環視の中にイエスの前にひきすへ、そして、イエスに向つて申しました。

『師よ、この女は姦淫の折り捕へられたるなり、モーセは律法にかゝる者を石にて擊つべきことを我等に命じたるが汝は如何に言ふか？』と。

この學者、パリサイ人達は、イエスに對して

反感を持つてゐました。と云ふのは、大工のむすこであり、たゞの人だと思つてゐるイエスの勢力がメキ〳〵と大きくなつて行くことがねたましく、且つ、自分達の耳の痛いことを常に言はれて居りますから、何にか、ことがあつたら、イエスをやりこめてやらうと手ぐすね引ひて待つてゐたが、イエスの犯し難い威嚴に打たれてはどうすることも出來ないで、徒らに切齒扼腕してゐたのでした。

　で、此の罪を犯した女は、彼等にとつてはイエスを苦しめ陷れるに好都合な材料でありました。もし、イエスが「殺せ」と言ふならば、ローマの法律はユダヤ人には人を死罪に定める權利が許されてないから、「不敬な者」としてイエスを訴へることが出來るし、又、「殺すな」と言へば、それはモーセの法律に反く者としてやはり訴へるつもりであつたのです。ですから、聖書には「かく言へるはイエスを試みて訴ふる種を得んとてなり」とあります。

　この時、イエスは身を屈め指にて、地面に何にか書いて居られました。けれども、學者、及び、パリサイ人がイエスの返事を迫まつて止まないので、イエスは體を起して、そして、申ました。

　「汝等のうち、罪無き者が、先づ、石を擲て」と。

　他人を審判する者は自分自身が完全な者でなければならない。清淨潔白な手でなければ他人を罰する權利は無い筈だと云ふ意味を、イエスは其の簡單な言葉で徹底させました。

　イエスに返事を迫まつた學者及びパリサイ人は自己をかへりみないわけにはまいりませんでした。そして、かへりみれば、皆、此の女と同じ罪人であることが自覺されるのでした。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

イエスの權威ある力強い其の言葉を聞いて良心に責められ、居たゝまれなくなつて、一人去り二人去り、コソ〳〵と皆逃げるように立ち去つてしまひました。

そこに、宮の中に、殘るはイエスと女とだけでありました。

イエスがおもむろに口を開いて。

『女よ、汝を訴へたる者どもは何處に居るぞ、汝を罰しようとする者どもは居らぬか？』と問はれたのに對して女は靜かに『主よ、誰も居ませんりません』と答へました。

イエスは『われも汝を罪せじ、往け、この後、再び、罪を犯すな』と、さとしました。

たとへ、どんなに深い罪人であらうとも此の聖恩に感泣しないものはないでせう。

そして、此の感泣の涙こそ、血みどろに汚れた手でも純白に洗ひ清めずには置かない。そして、それは何處の國、又、いつの時代に於ても同じであると私は信じます。

二人の男

地方の講演から汽車にゆられて稍遲く歸つてやれやれと云ふ氣持ちで、娘が心づくしの食卓についた。と、おもての格子戶が靜かに開いて私に逢ひたいと云ふ若い男の聲が聞へる。多くの初對面の人達との接觸で心に疲勞を感じて歸つて來てゐる私は又も始めての人に顏を合はせることが何としてもたいぎであつた。取りあへず主人に賴んで、私の代りに逢つて貰ふことにした。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

その來訪者は一人の男で苦學生であつた。私への用向きは結局電車賃が無いから貰ひたいと云ふのであつた、主人は彼に彼の住所をたづねた。するとそれは赤坂區だと云ふ。それでは私の住んでゐる四谷區のとなりである。歩いて行つてもほんの僅かな距離である。一面識もない人に金をねだる嫌やな思ひをするよりも歩いたらよささうなものだと常識は考へる。

だが、もう一歩進めて考へて見ると、それが人間性であるやうな氣がする。つまり、テク〳〵歩いて汗を流して行くよりも少しは嫌やな思ひも我慢して、そして、電車の中に腰を下して夜の涼風をぞんぶんに浴びながら行きたいのであらう。云ひ直せば、勞働を厭ふブルジヨア氣分であるだらう。

要するに「人の性は善なり」と云ひ得るやうに「人の性はブルジヨアなり」即ち、勞働を厭ふものなりと云ひ得るやうな氣がする。

そして、思ひ出さるゝことは、去る二月の總選擧の折りの無產派候補者達の演說を聞いてゐた聽衆の一「今の此の苦勞即ち烈しい勞働は資產を造つて將來幾分樂をしようと思へばこそだ。けれども、あの人達の云ふやうに資產を持つのが罪惡だと云ふなら、俺達は働く張り合ひも何にも無くなつてしまふではないか」と云つたつぶやきの言葉である。

プロレテリヤと云ふ言葉は理窟の上からは十二分の同情共鳴を持たれてゐながら、併し、此の言葉が好感を持つて一般から迎へられない。一般國民の心の中にピタリととけ合つて行かない理由が分つたやうな氣がする。

○

もう一人の男は「震災で店を失つて以來仕方なしに小さい飲食店を開いてどうにかかうにか親子五人の口はすごして來ましたが今度區劃整理で今居る場所も取り上げられることになりました。何にか東京で就職口はないでせうか?」と。

これは地方の或る町に住む私の遠緣の者で私共夫婦を訪れて來ての言葉だつた。ものをたんてきに云ふのが習慣の私の夫は、

「一體、君にはどう云ふ特色があるれ。云ひかへれ

ば、何にが出來るね。」と問ふた。

「さア、私位ひ特色のない奴はありませんよ。勿論、學問は無いし、腕に何の技術もないし、止むを得ず今日まで小商ひをして生きて來たんですから。」

それを聞いて暫く考へてゐた夫は突然「君は足は達者か？」と云つた。

彼はその質問が何を意味するかゝ解せないで一寸どぎまぎしながら「えゝ、足は達者なことは達者ですが………」と云ひながら、夫の顔を見つめてゐた。

夫は私の方を向いて「ねー、四谷の本局で郵便配達夫を募集してゐたね。」と云ひ、又、彼に向つて、「君、足が達者なら配達夫をやり給へ。配達夫はいゝ仕事だ。待遇だつていつまでも今のようぢやありやしない。」とすゝめるのだつた。

けれども、彼の顔は暗くなつた。話題をわざと他に外らして、そして、早々歸つて行つてしまつた。そこで、私は彼の意のある處を相像して見て考へるのだつた。

彼は自分自身の價値以上に、たとへば、彼には五の價値しか無いものを私達夫婦の紹介で又は努力で十の價値にして何處かへ世話して呉れと云ふことであるらしい。五のものを五の値で賣る位ひならわざ〳〵人に頭を下げてまで頼む必要はないと考へたらしい。

要するに、地金のまゝで賣る位ひなら人の世話にはならない。が、その地金にメツキをして高く賣つて呉れと云ふのが彼の要求であつたのだつた。

私達は、彼を失望させたかたちになつてゐるけれども、メツキ人間が多くて困る世の中に一人でもメツキ人間を造らなかつたことを私達は喜んでゐる。

巡囘講演を終つて

私に生を與へた神奈川縣の文化は他縣にくらべて非常に後れてゐます。それを甚だ遺憾のことだとして、同縣出身の大學生達から成る、相武學生協會が發起して、各地の男女青年團が後援して、神奈川縣下に巡囘

講演會を開催することになりました。

與瀬町から始まつて、小田原町を終りとするまで縣下中部の主もなる町や村に於て開催されること十三回でありましたが、講師は全部神奈川縣出身の方々で、私も神奈川出身と云ふ理由で學生協會の希望により、講師の末席をけがすことになりました。

場處により日によつて聽衆の少ない時もありましたが大部分は盛會であつたし、先づ、有意義な催しであつたと云ふのが今の私の實感です。そして、町よりも村の方が多く盛會であり聽衆が熱心であつたと云ふことは何を語るかと考へて見る時に、私の胸には希望が燃へ上がるような氣持ちがしました。

或る村などは、三里四方もある大きな面積であるにも拘らず、その村の隅々から聽衆はあつまつて來るのでした。東京から通つて行く講師達は歸へりがあまり遲くなるので少々困つたかたちで、早く始めて貰ひたいと云ひ、主催者側は、たとへ、遲くなつても、なるべく多くの聽衆がそろつた處で、始めて貰ひたいと云ふ。そして、どゝのつまりは村人の事情に同情して先づ開會は八時半から九時と云ふ處でした。

農家の人達であるために、手許が見へなくなるまで田畑で働いて、それから、湯あみをし、夕飯を食べて來るので、どうしても其の時間になるのでした。とにかく、終日ののでんの勞働で疲れてゐるにも拘らず、又、非常な暑さをも厭はず、ぞく／＼と講演會場へつめかけて來る村人の知識慾は素晴らしいものであると云ふことが痛切に感ぜられ、何とは無しに「機は熟せり」と云ふ氣持ちが胸一杯になるのでした。

私が絕へ間なく講演に出かけるので「聽衆の知力の程度が皆あなたより低い時には勿論いゝけれど、もし、あなたよりズツト高い知力の持主、又は、非常に偉い人達が聽衆の中にゐたり、臨席されてゐたりした時には御困りでせうね」と私にたづねる者があつた。

併し「聽衆に教へるとか、又は、自分の知識を誇るとか云ふ考へで演壇に立つならば隨分困る場合があるかも知れませんが、併し、さう云ふ考へからでなく、女性としての生活を一通り經て來た其の經驗を基礎とした女性としての氣持ちやら、又は、要求やらを女性

の聽衆には參考のために、男性の聽衆のために女性を理解して貰ふために話そうとする時には、どんな大學者がゐても、大偉人がゐても少しも困らないような氣がします」と私は答へました。

愚劣な端書

「政界廓正は婦人參政によるの外なしと主唱さる、あなたは、自ら其主張を裏切つて平凡な淺薄な女性を暴露して仕舞つた。權力を慕ふ卑劣なる心にこれを如實に表現して仕舞ふた。何故ならば、あなたは、あの天下の惡玉瀬川氏を人格者と信じたか、或は其假りの權力に憧れたのか洵に憫むべき御心事にぞある。何れにしてもあなたは、常の女であると云ふことの證明である。口や筆尖では何んとでも出來よう。然しながら吾等の欲ふのは現實である。彼等は口に正義人道を高唱し、光輝ある普選第一次の歷史に汚點を印したではないか。二百萬市民の利益を無視した瓦斯報償案の改訂をなさんとしたではないか。板舟權の不正京成軌道乘入れの不正其他大小の利權漁り、假令それが法の問ふ處にあらずとするも萬人をして首肯せしむる不正の行動である、斯る行爲が一般人心の惡化に及ぼすの影響の偉大なることは云ふを俟たない。斯る惡辣無道の僞政治家に傀儡されて頤使に左右され、然もそれを得意然たりしあなたは、正道を行く吾等の目して以て憫然たらざるを得ぬのである。この天下の醜類の一味を冠とする四谷婦人會の運命は最早休せりと云ふも不可なし、斷然婦人會は醜類一味のものではない、正しき眞面目なものは自重して居ます。死んだ魚は腹を出して水面に浮ぶ。自重々々」

と書いた差し出し人無名、山田わか宛の端書が八月中旬投げ込まれました。何を云はふとしてゐるのか？私共日本婦人にはまだ參政權は與へられてないのに私共女性が既でに〳〵參政權を行使してゐるかのように云つて居られる處を見ると、此の筆者は我が國の普通

選擧なるものが、どの範圍にまで擴張されてゐるかをも知らない無知蒙昧の人であることが分ります。並びに、民政黨の反對派に屬する人であると云ふことも明らかです。なぜなら、濱川氏を「天下の惡玉」と呼び自分を「正道を行く吾等」と稱してゐるのですから。

そして、今度ひつかゝつた市議連を醜類呼ばはりしてゐるのですが二十二日の時事新報朝刊「春夏秋冬」のうちに出てゐた野々山幸吉氏の言葉は面白いですね。曰く「一體市會議員自身が淨化運動をするに至つては全くなつてゐない。あれでは自ら不潔である事を市民の前に曝してゐるやうなものだ。水道でも水が淸冽なれば境や淀橋の淨水場は要らない。水が濁つて居ればこそ淨水池も必要となるのだ。自己の潔白は自己が最もよく知つてゐる。何にもわざ／＼明治神宮にまで御迷惑をかける事はないと例によつて頻りに氣焰を擧げてゐたが並みゐる市議連も唯苦笑する許りで一言も出なかつた」と。

實際、一方の政治家達の罪惡が暴露して檢擧騷ぎが始まると反對派の政治家連が凱歌を擧げて、そして、恰かも自分等のみが正義を守つてゐたかのやうな口吻を得意然ともらしてゐるのですが、併しながら、一方の政治家の罪惡の暴露が、反對派の政治家の正義を斷じて證明するものではない。證明する處か、一方が臭いに付て他の一方の臭さをも私共は感ずる。云ひ直せばたゞ、暴露したとしないとの差があるだけで、一皮むけば同じ穴の貉であることを信ぜずには居られません。

正義呼ばはりをする此の端書の筆者も、どうやら同じ穴の貉ではないかと云ふような氣がします。

瀆職事件の市議連が醜であり陋であるのは云ふまでもないことですが、その罪をたゞに市議連のみ負ばせて置くのは正しくない。なぜなら、彼等を市會へ送つたのは誰であるか？　それは東京市民ではないか？　そんなら、彼等の罪惡の少なくとも一部分は東京市民が負ふべきです。

裏ぎられても／＼しようこりもなく、同じ顏ぶれを市會に送る。札つきの人間を當選させて、そして、惡いことをしたからと云つて騷ぎ出す。實に、東京市民

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の頭の惡さにも呆れたものですが、とにかく、此の婦會の筆者のような正邪に拘はらず自分の味方でないものは皆自分の敵であるかのように、まるで『瓢箪なばけ物と見る』ような笑止な頭の惡い人間もあるのですから、四谷婦人會が重要な仕事の一つとしてゐる區民の頭の改造を決してゆるがせにしてはならないと思ひます。政界の淨化は選擧の淨化でなければならない。選擧の淨化は選擧民の頭の改造でなければなりませんから。

全く少しも筋道の通つてゐない愚劣な婦會を此處に取り上げて、かれこれするのもおとなげないとは考へながらも、併し、こう云ふ馬鹿な人が、外にもあつて又餘計な手数などをかけさせるようになるのも氣の毒と思ひますので、念のために云つて置きます。瀬川氏夫人が四谷婦人會に入會して居られるだけで、私は瀬川氏とはまだ言葉をかはしたこともありません。婦人會も瀬川氏とは勿論、民政派とは何の關係もありません。その外どの黨派にも何の關係もありません。政黨政派には超越したたゞ／＼四谷婦人の意志をまとめた會で、この會の力をもつて、今後區民の利害を醜い政爭の具に供しようとする黨派根性を糾彈して行こうとすることも會の一つの事業です。政治家に乃至黨派に左右せられるような性質の會で無いことを此處にくり返へし斷言して置きます。

大政黨にはあちこちに汚水のおどみが出來がちです。そこにボーフラ議員が沸く。そして、そのボーフラも時がたてば蚊になつて人を刺したり下らないことをブン／＼云ひたてる。徒らに人を刺したり迷惑をかけるようなボーフラ議員の名を此の次の選擧迄忘れずにゐることが政界淨化運動です。

本誌臨時定價表

一册	六册	十二册
金十錢（送料五厘）	前金五十五錢（送料共）	前金壹圓（送料共）

昭和三年八月廿三日印刷納本
昭和三年九月一日發行
東京市四谷區南伊賀町四一
編輯兼發行人　山田嘉吉
東京市牛込區若松町五四
印刷人　大杉直次郎
東京市四谷區南伊賀町四一
發行所　婦人と新社會
振替東京五三六八八番